



Cisco Unity 4.2 システム要件

Revised June 12, 2006

このドキュメントでは、Cisco Unity システム バージョン 4.2 をインストールするにあたっての要件を示します。このマニュアルには、次の項があります。

- [ハードウェア要件 \(P.2\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.3\)](#)
- [サードパーティ製ソフトウェアの言語要件 \(P.8\)](#)
- [Windows ドメインの要件 \(P.9\)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.10\)](#)
- [メッセージストア クラスターリングの使用要件 \(P.11\)](#)
- [Domino パーティショニングの要件 \(P.11\)](#)
- [Cisco Unity フェールオーバーの要件 \(P.12\)](#)
- [Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメント システム連動要件 \(P.13\)](#)
- [Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴 \(P.14\)](#)

ハードウェア要件

- Cisco Unity の仕様を満たすサーバ。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。



注意

Cisco TAC では、『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていないプラットフォームの Cisco Unity に関して、インストール、カスタマイズ、またはトラブルシューティングなどのサポートを提供していません。

- Cisco Unity との適合性が確認されているボイスカード（Cisco Unity を Cisco CallManager と連動させる場合には、ボイスカードは必要ありません）。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/unity42/42lsupp.htm にある『Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』の「サポートされるボイスカード」および「サポートされる回線交換電話システム連動」の項を参照してください。

以前のバージョンの Cisco Unity でサポートされていた一部のボイスカードは、サポートされなくなりました。Cisco Unity バージョン 2.x からバージョン 4.2 にアップグレードする際に、既存のサーバにサポートされないボイスカードが存在する場合は、これらのカードを交換してから、バージョン 4.2 へのアップグレードを行います。

アメリカ合衆国以外で Cisco Unity システムをインストールしており、アナロググループを使用して中央局に直接接続する場合は、Intel Dialogic ボイスカードにインラインの電話会社のフィルタをインストールして、タックス インパルス信号をフィルタリングする必要がある場合があります。詳細については、ボイスカードに付属する Intel Dialogic のドキュメント、および法規制に関する注意書きを参照してください。

- ボイスカードを電話システムに接続するために必要なケーブル、ライン スプリッタ、およびアダプタ。回線交換電話システムの連動タイプ別に必要なケーブルおよびその他のコンポーネントについては、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/unity42/42lsupp.htm にある『Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』の「サポートされる回線交換電話システム連動」の項を参照してください。

H.100 コネクタのカードを取り付ける場合は、少なくともカードと同数のコネクタがあり、コネクタの残りが 5 つ以内に収まる H.100 ケーブルを使用してカードを接続する必要があります（すべてのカードを 1 本のケーブルで接続する必要があるため）。

ソフトウェア要件

- ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ (P.3)
- ソフトウェア要件：メッセージストア (P.4)
- ソフトウェア要件：ユーザワークステーション (P.7)

Cisco Unity サーバ上で Cisco Security Agent for Cisco Unity を実行しようとする場合、必要なソフトウェアのバージョンのうち、サポートされていないバージョンがあることに注意してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html にある『Cisco Security Agent for Cisco Unity リリース ノート』の「ソフトウェア要件」の項を参照してください。

ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ

- サポートされているバージョンの Microsoft Windows Server 2003 または Windows 2000 Server
 - Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition(Exchange Server 2003 がメッセージストアとして必要)
 - Windows Server 2003 R2 Standard Edition (Exchange Server 2003 がメッセージストアとして必要)
 - Windows Server 2003 Enterprise Edition (Exchange Server 2003 がメッセージストアとして必要)
 - Windows Server 2003 Standard Edition(Exchange Server 2003 がメッセージストアとして必要)
 - Windows 2000 Server
 - Windows 2000 Advanced Server

これらの Windows バージョンは、英語、フランス語、ドイツ語、および日本語でサポートされています。

Cisco Unity は、Windows 2000 Professional または Windows 2000 Datacenter Server との適合性が確認されていません。



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動 (Cisco CallManager および SIP) と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、Domino はサポートされません。Domino がメッセージストアの場合、Cisco Unity では IBM Lotus Notes の Cisco Unity サーバへのインストールが必要ですが、Lotus Notes は Windows Server 2003 で利用できません。

- 適切なバージョンの Microsoft SQL Server
 - Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition(ボイス ポートが 33 個以上あるシステムの場合)
 - Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000)(ボイス ポートが 32 個以下のシステムの場合)

その他の SQL Server および MSDE のエディションはサポートされていません。



(注) Cisco Unity フェールオーバーを使用するシステムでは、ボイスポートの数に関わらず SQL Server 2000 Standard Edition が必要です (P.12 の「Cisco Unity フェールオーバーの要件」も参照してください)。

- Microsoft Internet Explorer 6.0
- MSXML 3.0
- 次のサービス パック (インストールは Cisco Unity セットアップによって強制的に実行されます)
 - Windows Server 2003 Service Pack 1 (Cisco Unity サーバ上の Windows 2003 用)
 - Windows 2000 Server Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の Windows 2000 用)
 - SQL Server 2000 Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の SQL Server 2000 用)
 - MSDE 2000 Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の MSDE 2000 用)
 - Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
 - MSXML 3.0 Service Pack 1

一部の Microsoft サービス パックは、上記のサービス パックから更新されている場合があるため、Cisco Unity との適合性が確認されている最新の Microsoft サービス パックで、Cisco Unity サーバをアップデートすることを推奨します。また、Microsoft が毎月リリースするセキュリティ アップデートを使用して、Cisco Unity をアップデートすることを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html にある『Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge』を参照してください。

- Microsoft .NET Framework 1.1
- Business Objects Crystal Reports XI
- Cisco Unity を Cisco CallManager または Cisco CallManager Express と連動させる場合には、Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.1(2)。
- Cisco TAC のサポートを受けるために必要な、次のいずれかのリモートアクセス アプリケーション
 - Microsoft Windows Terminal Services (Terminal Services は、Cisco Unity サーバのデフォルトのリモートアクセス ソフトウェアであり、Windows に付属しています)

Cisco Unity サーバでのターミナル サービスを使用した Cisco Unity のインストールまたはアップグレードは、サポートされていません。その他のターミナル サービスの制約については、適切な Cisco Unity のリリース ノート (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html) の「制約および制限事項」の項を参照してください。
 - Symantec pcAnywhere version 10.0 (pcAnywhere には、外付けのモデムを使用してください)。
- Cisco Unity 4.2

ソフトウェア要件：メッセージストア

IBM Lotus Domino と Microsoft Exchange は、Cisco Unity 4.2 とのメッセージストアとしての適合性が確認されています。次の各項を参照してください。

- [Domino 要件：メッセージストア \(P.5\)](#)
- [Exchange 要件：メッセージストア \(P.6\)](#)

Domino 要件：メッセージストア



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、Domino はサポートされません。Domino がメッセージストアの場合、Cisco Unity では IBM Lotus Notes の Cisco Unity サーバへのインストールが必要ですが、Lotus Notes は Windows Server 2003 で利用できません。

別個のサーバ上でのメッセージストアとしての Domino は、次の必要なソフトウェアとともに、ユニファイドメッセージまたはボイスメッセージに設定された Cisco Unity 4.2 のインストールレーションに対してサポートされています。

- Cisco Unity サーバ上でサポートされる IBM Lotus Note のバージョン。次の表 1 を参照してください。
- 次の項目に加えて、Domino サーバ上でサポートされる IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のバージョン。次の表 1 を参照してください。
 - DUC for Cisco のサーバコンポーネント (csServer) が、Cisco Unity ユーザに属するメールファイルまたはメールファイルの複製をホストする Domino サーバ上に必要です。
 - DUC for Cisco の管理コンポーネントである csAdmin を使用して、Domino ドメインのディレクトリデータベースをアップデートする必要があります。
- Domino サーバ上でサポートされる Domino のバージョン。次の表 1 を参照してください。
- DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でサポートされるオペレーティングシステムのバージョン。次の表 1 を参照してください。

Cisco Unity には、IBM Lotus のサーバまたはクライアントソフトウェアは付属していません。このソフトウェアはシスコまたは IBM Lotus から購入する必要があります。



(注)

Cisco Unity システムをインストールする場合は、メッセージストア環境がすでに設定され、稼動していることが前提となります。

表 1 メッセージストアとしての Domino に対して必要なソフトウェアのサポートされるバージョンの組み合わせ

Domino のバージョン	Domino サーバ上での DUC for Cisco バージョン	Cisco Unity サーバ上での Notes バージョン	DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でのオペレーティングシステム
7.0x	1.2.3	6.5.x	IBM AIX
		6.0.x	Windows Server 2003
			Windows 2000 Server
6.5.x	1.2.3	6.5.x	IBM AIX
6.0.x	1.2.2	6.0.x	Windows Server 2003
			Windows 2000 Server

Domino 関連要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Windows ドメインの要件 \(P.9\)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.10\)](#)

- [メッセージストア クラスターリングの使用要件 \(P.11\)](#)
- [Domino パーティショニングの要件 \(P.11\)](#)

Exchange 要件 : メッセージストア

メッセージストアとしての Exchange は、次に示す必要なソフトウェアとともに、次のような Cisco Unity 4.2 のコンフィギュレーションでサポートされます。

ユニファイド メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> • 別個のサーバ上での Exchange 2003 • 別個のサーバ上での Exchange 2000
ボイス メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> • 別個のサーバ上での Exchange 2003 • Cisco Unity サーバ、または別個のサーバ上での Exchange 2000

- Microsoft Exchange Server のサポートされるバージョンは次の通りです。
 - Exchange Server 2003 Enterprise Edition
 - Exchange Server 2003 Standard Edition



(注) Exchange Server 2003 で利用できる Voice Mail Run-Time Edition はありません。

- Exchange 2000 Enterprise Server の Voice Mail Run-Time Edition (Cisco Unity には、このバージョンがボイス メッセージ コンフィギュレーション専用として付属)
- Exchange 2000 Server Enterprise Edition
- Exchange 2000 Server Standard Edition
- Exchange 2000 Conferencing Server (別個のサーバ上で、ユニファイド メッセージ コンフィギュレーションのみでサポートされる)

お客様は、Exchange Server 2003 または Exchange 2000 Server のお客様ご自身のコピーを準備する必要があります (Cisco Unity に付属する Exchange 2000 の Voice Mail Run-Time Edition をお客様が使用している場合を除く)。



(注) Cisco Unity フェールオーバーを使用するシステムでは、Exchange をプライマリ サーバやセカンダリ サーバとは別個のサーバ上で稼働させる必要があります ([P.12 の「Cisco Unity フェールオーバーの要件」](#) も参照してください)。



注意 Cisco Unity バージョン 4.2 が Exchange 2003 をサポートするという理由で (Cisco Unity 3.x は Exchange 2003 をサポートしていません)、Cisco Unity 3.x をバージョン 4.2 にアップグレードする場合は、Exchange 2003 Forestprep を実行する前に、Cisco Unity バージョン 4.0(3) 以降にアップグレードする必要があります。この順序でアップグレードを行わないと、Forestprep が Active Directory に加えた変更によって Cisco Unity が機能しなくなります。

- Exchange 2000 Enterprise Server の Voice Mail Run-Time Edition を備えた Cisco Unity ボイス メッセージを除き、すべてのコンフィギュレーションについて、Client Access Licenses (CAL) を購入する必要があります。

- 次のサービス パック（インストールは Cisco Unity セットアップによって強制的に実行されます）
 - Exchange 2003 Service Pack 2（Exchange 2003 が使用されている場合）
 - Exchange 2000 Post-Service Pack 3 Update Rollup（Exchange 2000 が使用されている場合）。Microsoft のサポート技術情報（Knowledge Base）870540 を参照してください。
 - Exchange 2000 Service Pack 3（Exchange 2000 が使用されている場合）

一部の Microsoft サービス パックは、上記のサービス パックから更新されている場合があるため、Cisco Unity との適合性が確認されている最新の Exchange サービス パックで、Cisco Unity サーバをアップデートすることを推奨します。また、Microsoft が毎月リリースするセキュリティ アップデートを使用して、Cisco Unity をアップデートすることを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html にある『Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge』を参照してください。



(注) Exchange が別個のサーバにインストールされている Cisco Unity コンフィギュレーションでは、Cisco Unity システムをインストールする前に、メッセージ ストア環境がすでに設定され稼動していることが前提となります。

Exchange 関連要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Windows ドメインの要件（P.9）](#)
- [ネットワーク要件（P.10）](#)
- [メッセージ ストア クラスタリングの使用要件（P.11）](#)

ソフトウェア要件：ユーザ ワークステーション

- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるオペレーティング システム。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。次の場合に、互換性のあるオペレーティング システムが必要です。
 - Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合。
 - ユーザが Cisco Personal Communications Assistant（PCA）にアクセスする場合。ユーザは Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant と Cisco Unity Inbox にアクセスします。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるメール クライアント。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531eba.html にある『互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。互換性のあるメール クライアントは、Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが ViewMail for Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合に必要です。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるインターネット ブラウザ。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531eba.html にある『互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。互換性のあるブラウザは、ユーザが Cisco PCA にアクセスする場合に必要です。

サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

P.9の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」に記載されるアプリケーションの言語要件は、Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによって決まります。

表 2 に、French、German、Japanese、および U.S. English の各ロケールに必要な言語を示します。この表に記載のないロケールについては、すべてのソフトウェアにアメリカ英語バージョンが必要です。

Cisco Unity サーバ上のロケールは、インストール済みの Cisco Unity の言語の 1 つと一致させる必要があります。たとえば、ロケールに French を選択している場合、フランス語の Cisco Unity システム プロンプト セットもインストールする必要があります。

表 2 サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

Windows のロケール (Cisco Unity サーバ上)	サードパーティ製ソフトウェアの言語要件
French	次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.9 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にフランス語バージョンが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : フランス語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要
German	次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.9 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にドイツ語バージョンが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : ドイツ語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要
Japanese	次の 4 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.9 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) に日本語バージョンが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : 日本語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要 Symantec pcAnywhere (オプションのアプリケーション): アメリカ英語が必要
U.S. English	すべてのソフトウェア (P.9 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にアメリカ英語バージョンが必要です。
この表に記載のないロケール	すべてのソフトウェア (P.9 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にアメリカ英語バージョンが必要です。

サードパーティ製ソフトウェアのリスト

Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによっては、表 2 に示す言語に次のソフトウェアをインストールする必要があります。

- Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook
- IBM Lotus Domino
- IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco
- IBM Lotus Notes
- Microsoft Exchange
- Microsoft Internet Explorer
- Microsoft MDAC
- Microsoft MSXML
- Microsoft Outlook
- Microsoft SQL Server または MSDE
- Microsoft Windows
- Microsoft Windows Terminal Services
- Symantec pcAnywhere

Windows ドメインの要件

次の各項を参照してください。

- [Windows ドメインの要件：Cisco Unity ユニファイドメッセージ \(P.9\)](#)
- [Windows ドメインの要件：Cisco Unity ボイスメッセージ \(P.9\)](#)

ユニファイドメッセージおよびボイスメッセージのコンフィギュレーションの特徴については、P.14 の「[Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴](#)」を参照してください。

Windows ドメインの要件：Cisco Unity ユニファイドメッセージ

Windows 2003 ドメイン

Cisco Unity サーバは、既存の Windows Server 2003 ドメインのメンバサーバです。

Windows 2000 ドメイン

Cisco Unity サーバは、通常、既存の Windows 2000 ドメインのメンバサーバになります。

Windows ドメインの要件：Cisco Unity ボイスメッセージ

Windows Server 2003 ドメイン

Cisco Unity サーバは、既存の Windows Server 2003 ドメインのメンバサーバです。

Windows 2000 Server ドメイン

Cisco Unity サーバは、サーバ自身のドメインにおけるドメインコントローラ / グローバルカタログサーバ (DC/GC) または既存の Windows 2000 ドメインのメンバサーバです。

ネットワーク要件

次の各項を参照してください。

- ネットワーク要件：Cisco Unity ユニファイド メッセージ (P.10)
- ネットワーク要件：Cisco Unity ボイス メッセージ (P.10)

ユニファイド メッセージおよび ボイス メッセージのコンフィギュレーションの特徴については、P.14 の「Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴」を参照してください。

ネットワーク要件：Cisco Unity ユニファイド メッセージ

Cisco Unity サーバがメッセージ ストア、ディレクトリ、およびネットワーク ユーティリティにアクセスできるようにするには、サーバがネットワークに接続される必要があります。

- 最低 100 Mbps の接続を推奨します。
- 最高 200 ミリ秒のネットワーク遅延。
- Cisco Unity フェールオーバーを構成する場合は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。
- Cisco Unity サーバにデュアル NIC が存在する場合は、1 つの IP アドレスを使用するフォールトトレランスにこの 2 つの NIC を設定するか、どちらか 1 つの NIC を無効化する必要があります。個別の IP アドレスを持つ 2 つの NIC に対するネットワーク負荷バランシング構成は、サポートされていません。
- Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次の通りです。
 - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。
 - G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。
 - ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

ネットワーク要件：Cisco Unity ボイス メッセージ

多くのボイス メッセージ コンフィギュレーションの場合、Cisco Unity サーバがメッセージ ストア、ディレクトリ、およびネットワーク ユーティリティにアクセスできるようにするには、サーバがネットワークに接続される必要があります。この唯一の例外は、Exchange 2000 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合や、このサーバがフェールオーバー用に構成されていない場合、および Cisco Unity がボイス カードを使用する電話システムと連動している場合です。このような構成においては、ネットワーク接続は不要です。

- ネットワーク接続がある場合、最小のネットワーク接続で最低 10 Mbps が必要です。
- 最高 200 ミリ秒のネットワーク遅延。
- Cisco Unity フェールオーバーを構成する場合は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバ間で 100 Mbps の接続を推奨します。
- Cisco Unity サーバにデュアル NIC が存在する場合は、1 つの IP アドレスを使用するフォールトトレランスにこの 2 つの NIC を設定するか、どちらか 1 つの NIC を無効化する必要があります。個別の IP アドレスを持つ 2 つの NIC に対するネットワーク負荷バランシング構成は、サポートされていません。
- Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次の通りです。
 - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。

- G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。
- ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

メッセージストア クラスタリングの使用要件

次の各項を参照してください。

- [Domino 要件：メッセージストア クラスタリング \(P.11\)](#)
- [Exchange 要件：メッセージストア クラスタリング \(P.11\)](#)

Domino 要件：メッセージストア クラスタリング

- 同じ Domino サーバ上または別個の Domino サーバ上のクラスタリングがサポートされていません (同じ Domino サーバ上のクラスタリングは、Domino パーティショニングの使用を前提としています。P.11 の「Domino パーティショニングの要件」も参照してください)。
- クラスタ化されたサーバはすべて、各 Cisco Unity ユーザのメール ファイルの複製を持つ必要があります。
- csServer (IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のサーバ コンポーネント) を、クラスタ化されたサーバすべてにインストールする必要があります。

Exchange 要件：メッセージストア クラスタリング

Exchange クラスタでユーザにサービスを提供する場合、Cisco Unity には次の要件があります。

- Exchange 2003 クラスタリングはサポートされる。
- Exchange 2000 クラスタリングはサポートされる。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity をインストールしない。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity Voice Connector for Microsoft Exchange をインストールしない。

Exchange クラスタをホームとする Cisco Unity ユーザのメールボックスがサポートされます。ただし、クラスタ化された Exchange サーバを運用するには、特別なハードウェア (シスコ非提供品) と、Windows および Exchange クラスタリングの高度な知識が必要です。シスコから Exchange クラスタのコンフィギュレーションまたはサポートに関するヘルプは提供されないため、お客様ご自身で Exchange クラスタのサポートを入手してください。

Domino パーティショニングの要件

各パーティションは固有の IP アドレスを持つ必要があります。

Cisco Unity フェールオーバーの要件

- プライマリ サーバとセカンダリ サーバは、両方とも Cisco Unity との適合性が確認されている必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同一のプラットフォーム オーバーレイを持つ必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバを同じドメインのメンバサーバにする必要があります（ドメイン コントローラにはできません）。どちらの Cisco Unity サーバにも Active Directory をインストールしないでください。
- Cisco Unity サーバ名は 15 文字以内である必要があります。また、サーバ名はプライマリ サーバとセカンダリ サーバで異なる必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが、別のコンピュータ上にある同一のメッセージストアに接続される必要があります。（このように分けることにより、プライマリ サーバまたはセカンダリ サーバのいずれかが機能しなくなった場合でも、メッセージの利用が可能になります）。
- Cisco Unity サーバにインストールされる IBM Lotus ソフトウェアは、Lotus Notes のみです。その他すべての IBM Lotus ソフトウェアは Cisco Unity サーバ以外のコンピュータに配置されます。
- Cisco Unity サーバにインストールされる Exchange ソフトウェアは、管理ソフトウェアのみです。Exchange ソフトウェアのフルバージョンは、Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールされます。
- SQL Server 2000 Standard Edition は必ず両方の Cisco Unity サーバにインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity フェールオーバーを使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリ サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリサーバに指定します。
- 両方の Cisco Unity サーバは同一の Cisco CallManager サーバ、SIP プロキシ サーバ、または回線交換電話システムに接続する必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバをネットワークに接続し、最低 100 Mbps の信頼性の高い接続を確立する必要があります。ネットワーク接続なしでフェールオーバーをインストールすることはできません。
- フェールオーバーは、ネットワーク接続のないものを除き、サポートされているあらゆる Cisco Unity コンフィギュレーションで使用できます。
- Cisco Unity と SQL Server 2000 は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方に、同一のドメイン アカウントでインストールする必要があります。
- この 2 つの Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスと SQLSERVERAGENT サービスは、両方のサーバ上でローカル管理者グループのメンバーとして定義されている、同一のドメイン アカウントを使用するよう構成する必要があります。これらのサービスは、ローカル システムとして実行されるよう構成することはできません。プライマリ サーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリ サーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。

Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメント システム 連動要件

- ソフトウェア バージョンが 4.0.4 またはそれ以降の Percipia Networks Transient Communications Engine (PTCE) サーバ。
- Cisco Unity が、Exchange 2003 または Exchange 2000 の環境にインストールされていること。
- Cisco Unity が、Windows 2003 または Windows 2000 の環境にインストールされていること。
- Cisco Unity が Cisco Unity の仕様を満たすサーバにインストールされていること。各サーバのプラットフォームでサポートされる最大のボイス メッセージ ユーザ数には、すべての通常ユーザとホテル ゲストが含まれます。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。

Cisco Unity ホスピタリティ機能は、Cisco Unity フェールオーバーではサポートされません。

Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーション \(P.14\)](#)
- [Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーション \(P.14\)](#)

Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーション

Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーションには、次の特徴があります。

- Cisco Unity サーバはボイスメッセージのみ処理します。ボイスメッセージと電子メールメッセージはメッセージストアサーバ上に保管されます。
- Cisco Unity サーバはネットワークに接続されるため、メッセージストア、ディレクトリ、およびウイルスチェックやバックアップなどのネットワークユーティリティにアクセスできます。
- ユーザは、次の手段でメッセージを確認できます。
 - Domino の場合は、電話または電子メールクライアントを使用。
 - Exchange の場合は、電話、Cisco Unity Inbox、または電子メールクライアントを使用(Cisco Unity Inbox には Cisco Personal Communications Assistant、つまり Cisco PCA を介してアクセスします)
- Cisco Unity の管理は、ネットワークを介して行うこともできます。
- ユーザは、Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant にアクセスできます。
- ユーザアカウントのボイスメール属性および電子メール属性は、Cisco Unity システム管理を使用して、単一のロケーションから管理できます。

ユニファイドメッセージサーバとして Cisco Unity サーバをインストールする作業は、次の認定を受けた担当者が行うようにしてください。

Domino 版	Lotus 認定システム管理者
Exchange 版	Microsoft 認定システム エンジニア

Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーション

Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーションには、次の特徴があります。

- Cisco Unity サーバはボイスメッセージのみ処理します。
- Cisco Unity サーバがネットワークに接続されている場合、次のことが可能です。
 - Cisco Unity のネットワーク上での管理。
 - ユーザによる Cisco Personal Communications Assistant (PCA) を介した Cisco Unity Assistant へのアクセス。
 - サーバがウイルスチェックやバックアップなどのネットワークユーティリティにアクセス可能。また、メッセージストアおよびディレクトリが別個のサーバ上にインストールされている場合は、それらにもアクセスすることが可能。
 - Cisco Unity と、Cisco CallManager および Cisco SIP Proxy Server との連携。
 - Cisco Unity と回線交換電話システムとの、Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) ユニットを通じた連携。

Cisco Unity サーバをネットワークに接続するための条件については、P.10の「[ネットワーク要件](#)」を参照してください。

- ユーザは、次の手段でメッセージを確認できます。
 - Domino の場合は、電話を使用。
 - Exchange の場合は電話、または Cisco Unity Inbox を使用 (Cisco PCA を介してアクセス)。
- ユーザ アカウントに電子メール属性がある場合は、ボイスメール属性とは別個に管理する必要があります。

Domino サーバに対して Cisco Unity をボイス メッセージ コンフィギュレーションにインストールする作業は、Lotus 認定システム管理者の認定を受けた担当者が行うようにしてください。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARtNet、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501